

## 特集にあたって

生田目 崇 (専修大学)

本特集は、平成19年度「データ解析コンペティション」の成果を対象とした投稿論文である。このような特集を組んでいただくことをはじめ、日本OR学会からは本コンペティションに対してさまざまなご支援とご理解をいただいております。まずは感謝申し上げます。

平成19年度のデータ解析コンペティションでは、B2B市場における自動車オークションのログ・データが提供された。オークションはORにとっても大変魅力的な研究対象であり、ORに関する最近の論文誌や著書の中にも、多くの研究成果が紹介されている。

本コンペティションは、産学合わせて7団体が共催する「経営科学系研究部会連合協議会」が開催している。なお、本コンペティションへの参加者は45チーム総勢200余名であった。

本特集については、コンペティション終了後に研究成果をまとめた論文の募集を行った。論文の投稿については査読を行うため、査読委員会(委員長:早稲田大学 守口剛教授)を設け、ダブル・ブラインド方式により各論文について2名ずつの査読をお願いした。5編の投稿があり、結果として最終的にはすべて採択となった。ただし、1度目の査読ですべての論文が再査読判定を受け、再査読によりそのうちの2本が条件付採録となった。本来はこの時点で本特集の査読を打ち切るはずであったが、採録件数が少なかったため、学会事務局に入稿スケジュールを確認し、著者および査読者にお申し送りし、再々査読の機会を設けることで対応した。査読プロセスにおけるすべての論文、査読レポートを読ませていただいたが、非常に的確な査読レポートをいただき、かつそれに対して真摯に修正していただいたことで、より価値の高い論文が掲載できたと考えている。大変な負担をかけてしまった査読者の方々には謝意を申し上げます。

本特集の論文で利用されている提供データについて以下にまとめる。

データ:システム・ロケーション<sup>(株)</sup>提供のB2B自動車オークションのログ・データ

期間:2005年6月~2007年6月

オークション・レコード数:約12万件

開催オークション:開催日,開催地コード,開催回,出品番号,在庫番号

出品者情報:出品者コード,出品者本店区分,車両・車検証情報:登録地区,初年度登録,車検期限年月,認定型式,メーカコード,車種名,グレード名,グレードオプション,仕様,形状記号,燃料,ミッション記号,駆動方式,排気量,ドア数,定員,積載量,色,レンタカー歴,抹消区分,保証書,整備手帳,記録,修復歴

車両情報:看板面数,距離区分,走行距離,全長,全幅,エアコン,パワステ,パワーウィンドウ,サンルーフ,革シート,ナビゲーションシステム,左ハンドル,Wタイヤ,冷凍冷蔵装置(機械式・蓄冷式),クレーン数,新車価格

車両状況:内装:ヤブレ,穴,亀裂,外装:パネル記号,損傷記号

落札情報:結果区分,同札区分,落札金額,札数,落札バイヤーコード,落札バイヤー本店区分

本オークションでは、入札ヤード(出品自動車の展示場所)ごとに入札会方式により行われる。したがって、同時に入札するため、入札者同士はお互いの情報を知ることができない。落札は、最高価格で入札した入札者とその価格で落札する権利を有する。ただし、出品者は落札価格が意に沿わなければ流札することもできる。しかし、対象が自動車という大型物品のオークションであり、保管場所などの問題もあるためか、落札率は95%程度と大変高かった。

本コンペティションに関しては、特に以下の方々にご協力いただいた。まず、システム・ロケーション<sup>(株)</sup>からは、本コンペティションに対して、貴重なデータをご提供いただいた。また、大規模データ解析に欠かせない分析ツールを、<sup>(株)</sup>数理システム、<sup>(株)</sup>SPSS、SAS Institute Japan<sup>(株)</sup>の各社から貸与のご協力いただいた。ここに感謝の意を表したい。